

政策シート

政策名
01 地域防犯の向上

予算費目名
01 市民生活費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野
03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策

02 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

・市民が安心して生活することができる明るく安全な地域社会を構築するため、市民が自主的に防犯活動に参加するなど防犯意識の高揚を図るとともに自主的防犯活動を支援する。また、地区自治会連合会が設置する防犯カメラに対する補助等を行う。

・地域における助け合いの精神を醸成し、市民が「自らの地域の安全は自らで守る」という信念をもち、将来にわたり安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指す。

・防犯協会6団体の運営を支援することで、地域の防犯活動の推進等を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑪実施手段								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	37,880	35,841	35,800	37,707	38,101	41,190
決算	35,862	35,162	34,570	35,609	35,731	38,564
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	7,700	4,900	4,900	5,600	5,600	5,600
年間経費(決算+A+B)	43,562	40,062	39,470	41,209	41,331	44,164

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
「子どもの登下校時における見守り・声かけ(挨拶)運動」実施団体数の割合	%	目標	80	82	84	86	86	86
		実績	80	83	84	84	84	2025.9頃確定
市民参加による「地区安全会議」の団体数	団体	目標	66	-	-	-	-	-
		実績	55	-	-	-	-	-
自治会所有の防犯灯のLED化率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	99.3	100	100	100	100	100

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・市民が安心して生活することができる明るく安全な地域社会を構築するため、市民が自主的に防犯活動に参加するなど防犯意識の高揚を図るとともに自主的防犯活動を支援した。そして、地域における助け合いの精神を醸成し、市民が「自らの地域の安全は自らで守る」という信念をもち、将来にわたり安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現を図るよう推進した。

・防犯協会6団体の運営を支援することで、地域の防犯活動の推進等を図った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・既存の地域防犯団体に対する意見交換会の開催及び啓発物品等を支援することにより、地域の自主防犯活動を支援できた。	
・各防犯協会は、それぞれの地域特性や犯罪発生状況を踏まえた講座などを実施、犯罪等の発生防止及び生活の安全を守るために啓発活動等を実施した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	安全で安心なまちづくり支援事業	○	○		6,454	5,517	0.5				
2	中心市街地防犯センター支援事業	－	○		2,226	889	0.2				
3	防犯協会運営事業(負担金)	－	○		35,484	34,784	0.1				
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					44,164	41,190	0.8				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 02	政策 01	予算費目 01	所属コード 000605000	事業 01	(担当課) 市民生活課	(責任者) 藤田 裕	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 01 安全で安心なまちづくり支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

犯罪の起きにくいまちづくりを進めるため、地域住民による自主的防犯活動を支援し、県、警察との連絡調整を図りながら、安全で安心な浜松市を実現する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2010	—	一般会計	自治事務(法令義務)	浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-3(1)ア						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市						⑪実施手段			
事業とゴールの 関連性	犯罪の起きにくいまちづくりを進めるため、地域住民による自主的防犯活動を支援することにより、包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,969	1,520	1,667	3,646	4,020	5,517
	決算	901	967	624	1,724	1,811	2,954
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	901	967	624	1,724	1,811	2,954
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		5,600	2,800	2,800	3,500	3,500	3,500
人工	正規	0.8	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		6,501	3,767	3,424	5,224	5,311	6,454

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
「子どもの登下校時における見守り・声かけ (挨拶)運動」の実施割合(%)		目標	80	82	84	86	86	86
		実績	80	83	84	84	83	2025.9頃確定
市民参加による「地区安全会議」の団体数		目標	66	—	—	—	—	—
		実績	55	—	—	—	—	—
自治会所有の防犯灯のLED化率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	99.3	100	100	100	100	100
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	02	01	01	000605000	01	市民生活課	藤田 裕	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・地域住民による自主的防犯活動団体「地区安全会議」による「子どもの登下校時における見守り・声かけ(挨拶運動)」の支援
 ・設立済みの「地区安全会議」への犯罪防止・抑止情報等の提供と啓発物品等の支援
 ・防犯カメラ設置費用を助成した
 ・浜松市警察部との連絡会議を開催した

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
 指標の達成度
 ・地域住民による自主的防犯活動団体「地区安全会議」による「子どもの登下校時における見守り・声かけ(挨拶運動)」を実施した。
 ・「地区安全会議」の意見交換会の開催及び啓発物品等を支給した。
 ・地区自治会連合会に対する見守り空白地帯解消のための防犯カメラ22台分の設置費用を補助した。
 ・浜松市警察部との連絡会議を開催するとともに常時における連絡体制を構築できた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
 自主的防犯活動団体の担い手の固定化及び年代層の硬直化がみられる。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 市民が安心して生活することができる明るく安全な地域社会を構築するため、市民が自主的に防犯活動に参加するなど防犯意識の高揚を図るとともに自主的防犯活動を支援した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 引き続き市民の防犯意識の高揚を図るとともに、自主的防犯活動団体の担い手拡大を図るため、他団体の取組事例紹介や新規参入者に対し啓発物品を提供するなど活動参加を支援する。

事業シート

(事業名) 02 中心市街地防犯センター支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

中心市街地の治安維持を市民協働で図るため、有楽街に設置したまちなか防犯センターの維持管理及び運営を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2011	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市						⑪実施手段			
事業とゴールの 関連性	中心市街地の治安維持を市民協働で図るため、有楽街に設置したまちなか防犯センターの維持管理及び運営を支援することにより、包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,150	1,113	968	958	1,036	889
	決算	1,008	987	781	782	875	826
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,008	987	781	782	875	826
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		2,408	2,387	2,181	2,182	2,275	2,226

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	02	01	01	000605000	03	市民生活課	藤田 裕	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・商店会、地元自治会等で組織された「まちなか防犯協議会」が運営主体のまちなか防犯センターの維持管理
- ・まちなか防犯協議会と市、警察等との犯罪防止及び発生抑止に向けた連携・調整
- ・「まちなか防犯協議会」の活動支援

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・まちなか防犯協議会の活動支援のため活動拠点である防犯センターを維持管理した。
- ・まちなか防犯協議会と市、警察等との犯罪防止及び発生抑止に向けた連携・調整を目的とした協議会に毎月委員として参加した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・防犯カメラモニターの設置場所として活用するなどまちなかの防犯活動の拠点として機能した。
- ・まちなか防犯協議会の活動により、街中における防犯意識の高揚を図ることができた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、商店会、地元自治会、警察等と連携し、治安維持を図る。

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 02	政策 01	予算費目 01	所属コード 000605000	事業 04	(担当課) 市民生活課	(責任者) 藤田 裕	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 03 防犯協会運営事業(負担金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

地域の安全で安心な市民生活の確保のため、市内6警察署管内の防犯協会へ負担金を支出し、犯罪の防止や治安維持など民生の安定と福祉の増進を図るとともに、地域の防犯活動の推進及び定着のための支援をする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑪実施手段
事業とゴールの 関連性	地域の安全で安心な市民生活の確保のため、市内6警察署管内の防犯協会へ負担金を支出し、地域の防犯活動の推進及び定着のための支援をすることにより、包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	34,761	33,208	33,165	33,103	33,045	34,784
	決算	33,953	33,208	33,165	33,103	33,045	34,784
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	33,953	33,208	33,165	33,103	33,045	34,784
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		34,653	33,908	33,865	33,803	33,745	35,484

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	02	01	01	000605000	04	市民生活課	藤田 裕	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・市内6警察署管内の防犯協会による防犯指導や防犯活動、啓発支援のため、負担金を拠出した。
【浜松中央地区防犯協会連合会、浜松東・浜松西・浜北・細江警察署管内防犯協会、天竜地区防犯協会】

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

防犯協会が実施する防犯講座等の啓発活動に負担金が活用された。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

令和6年4月1日から警察署管轄区域の見直し。細江警察署管轄だった三方原地区、浜松東警察署管轄だった新津地区及び可美地区が浜松中央警察署管轄に移管。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

警察署管轄区域の見直しに対応するため負担金の見直しを行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、防犯協会の活動を支援する負担金を拠出する。